

令和2年11月度 一般社団法人獨協大学同窓会定時社員総会議事録

日時	令和2年11月21日（土）13:30～16:00
会場	アットビジネスセンター東京駅八重洲通り501号室
出席	社員総数：40名 出席率：92.5% 内訳 会場出席21名、オンライン6名、委任状6通、 議決行使権4名、欠席・未回答3名 立会人：代議員選出管理委員 阿部平四郎、吉田 千春、中島直樹
議事	開会 社員総会成立確認 会長挨拶 議決事項 （1）令和2年度9月期事業計画承認の件 （2）令和2年度9月期決算書類承認の件 監査報告 報告事項 （1）支部代表者の変更 （2）理事の辞任について （3）任期満了に伴う代議員の改選について （4）任期満了に伴う理事・監事の退任について 閉会

<開会宣言・社員総会成立確認>

開会に先立ち、加藤貫雄氏（第6代会長、昨年12月に逝去）、星逸朗氏（同窓会副会長、本年2月に逝去）の2名に黙とうが捧げられた。定刻に一般社団法人獨協大学同窓会副会長 上杉貴が開会宣言を行い、出席率が過半数を満たしており、社員総会が有効に成立している旨を報告した。

同窓会会長須藤明弘が一般社団法人獨協大学同窓会定款第14条にもとづき議長となった。挨拶の中で現役生に対し新型コロナ対策特別卒業奨学金寄付を行う等、直近の同窓会活動について触れた後、審議に入った。

<議決事項>

- （1）令和2年度9月期事業計画承認の件

議長が第1号議案について説明を行い、本件について議場に諮ったところ満場異議なく承認された。

(2) 令和2年度9月期決算書類承認の件

財務担当理事 友安俊明が資料にもとづき貸借対照表および収支計算書について説明を行った。続いて、奨学金担当理事 柘植義信が奨学金特別会計貸借対照表・奨学金特別会計収支明細書について説明、椋柳会幹事 金井芳夫が椋柳会特別会計貸借対照表・椋柳会特別会計収支明細書について説明を行った。

監事 横山清祐が、令和2年11月6日に監査を行った結果、予算の施行、会計処理が適正に行われていたことを報告。また、任期満了にあたり2年間監事として理事会に出席した所感を述べ、次期代議員にこの言葉を受け止めて任務にあたってほしいと激励した。

(横山監事の発言の要旨)

- ・同窓会組織運営者にとって大切なことは、組織の常識と世間の常識が一致していること。
- ・厳格であることは必要であるが、無理をし過ぎたり、人を追い詰めたりはしないこと。
- ・理事会は私心を捨て、同窓会会員のニーズをどれだけ把握し、それぞれの実情に合わせて問題を極小化できるかを建設的に話し合い、施行する場である。

議長が令和2年度9月期決算書類承認の件について議場に諮ったところ、満場異議なく承認された。

<報告事項>

(1) 支部代表者の変更について

議長が埼玉県支部および山梨県支部の代表者変更について報告した。

支部名	新代表
埼玉県支部	福浦 政治 (89年法律卒)
山梨県支部	河西 希 (83年法律卒)

(2) 理事の辞任について

議長が理事の辞任について報告した。

星 逸朗 (73年法律卒)	令和2年2月24日逝去につき辞任
---------------	------------------

(3) 任期満了に伴う代議員の改選について

議長が今期（52期・53期）代議員の任期満了にともない、役員改選を行うこと、次期（54期・55期）代議員に42名の立候補者があったと報告した。

<代議員選出管理委員会からの講評>

代議員選出管理委員会を代表し、阿部 平四郎 委員長が立候補者の審査結果を講評した。代議員選挙細則第8条に抵触する同一団体（ゼミ）から代議員総数の1割を超える5名の立候補が判明したが、理事会では立候補者全員の当選を承認したと報告した。続いて吉田 千春 選出管理委員が意見書をもとに補足説明を行い、選挙細則および管理委員会規程の不備、問題点を早急に改善するよう求めた。

【指摘された主な問題点】

- ① 同一団体（ゼミ）から代議員総数の1割を超える5名の立候補があった件
2018年、52期・53期の代議員選出の際には42名の立候補者に対し同一団体（ゼミ）から4名の立候補があり、代議員総数の1割を超える寸前であった。このため1割を超えた場合を見据えてのルールづくりが必要であることを意見書に記載し提出していたが、意見書の内容が理事間で共有されず、理事会で検討されなかった。
- ② 選出管理委員会の発足が立候補受付開始から3ヶ月を経過した7月28日であった。
※管理規程第6条「代議員の募集開始から新執行部の選出終了までとする」
- ③ 選出管理委員会と理事会の役割が明確化されていない。

<飯塚代議員の発言>

- ① 飯塚代議員が「規程の不備が公示前に修正されていなかったことは理事全員の責任であり、規程に抵触している立候補者を当選させるか否かについては、理事会の判断ではなく社員総会で判断すべき事柄である」と発言した。飯塚代議員の発言に対し、友安理事が2018年に提出された選出管理委員会からの意見書内容が共有されていなかったと言及した。
- ② 飯塚代議員が理事会の決定を承認するか否かについて採決をとるよう動議を出し、議長が理事会の決定を承認するか否かについて議場にはかったところ、多数をもって理事会の決定が承認され、5名の立候補者を含む全員（後述）の当選が決定した。

<組織委員会からの言及>

府川委員長理事から代表して規程の問題点について言及があった。

「(代議員の)総数」「(代議員の)定数」という言葉が曖昧であり、立候補者の数により「定数」が変わることについて当事者に丁寧に説明する必要があった。

- ・「団体」の定義が不明確である。
- ・新規立候補者は正会員であるにもかかわらず発言権を持ってないことも問題である。
- ・規程を正した後に代議員募集をやり直す案も提言したが、改めて代議員募集を行うことに対して賛同した者はいなかった。

<これらに関する意見>

今野泰子代議員が「自分は同一団体(ゼミ)からの立候補者5名のうちの一人であるが、出身ゼミにはOB会がなく、他の方との繋がりはなく、徒党を組んで立候補しているわけではない」「規程については立候補前に説明を受けていなかった」と発言した。

櫻田 可人代議員、宮本 彰 代議員、相田 肇 代議員からは「今回は全員当選とし、規程の不備については次期の理事会で討議すべである」という趣旨の発言があった。

傍聴の瀬戸健一郎氏(54期・55期代議員)から「資料に個人名を記載することは名誉を傷つけるものであり、不適切である、削除すべき」との発言があった。

以上2つの委員会から提出された問題点については、54期・55期の理事会への申し送り事項となり、早い段階での解決が求められる。

第54期・55期 代議員
(令和2年11月～令和4年11月)

代議員	現・新	立候補者氏名	卒年	学科
1	現	櫻田 可人	1969	独語
2	現	青野 民男	1970	英語
3	現	府川 謹也	1970	英語
4	現	須藤 明弘	1971	経済
5	現	鈴木 弘隆	1971	法律
6	現	海田 正則	1972	経済
7	現	井上 司	1977	法律
8	現	相田 肇	1978	英語
9	現	吉塚 弘	1978	英語
10	現	高木 大介	1978	経済
11	現	飯塚 勝久	1978	法律
12	現	黒木 晋	1979	仏語
13	現	金井 芳夫	1980	経営
14	現	大西 純一	1981	仏語
15	現	菅沼 豊	1983	経営
16	現	前田 雅規	1983	法律
17	現	今野 泰子	1987	英語
18	現	吉岡 和男	1987	経済
19	現	河野 直樹	1988	英語
20	現	百田 克己	1988	経営
21	現	柘植 義信	1989	経営
22	現	水谷 功	1991	経済
23	現	島田 康弘	1999	英語
24	現	佐藤 祐一	2008	経営
25	新	山本 英雄	1977	経営
26	新	鳥羽 成明	1978	英語
27	新	高橋 政晴	1981	経済
28	新	奥山 猛夫	1981	経営
29	新	中田 涼子	1984	英語
30	新	長谷川 大	1984	経済
31	新	田中 眞一郎	1985	英語
32	新	瀬戸 健一郎	1986	法律

33	新	柳田 茂光	1986	法律
34	新	和田 暁	1987	法律
35	新	亀崎 光徳	1990	法律
36	新	長岡 昌	1992	法律
37	新	澤田 大輔	1995	英語
38	新	林 弘樹	1997	英語
39	新	鈴木 孝昌	2016	交流文化
40	新	野崎 僚加	2019	英語
41	新	箱田 一樹	2019	英語
42	新	佐久間 美希	2020	経営

(4) 任期満了に伴う理事・監事の退任について

第52期・53期 理事11名、監事4名が任期満了により退任する件について議長が報告した。

(5) 獨協大学同窓会事業計画案および一般会計予算案、特別会計予算案について

友安俊明財務担当理事が、資料にもとづき、54期の事業計画および予算について報告した。

以上で議事が終了し、議長の閉会宣言により本会は締めくくられ、16:00に散会した。

議長 須藤 明弘
 議事録署名人 鈴木 弘隆
 議事録署名人 河野 直樹